

## 米高官が明言：米諜報部はウクライナに、ロシア将軍を殺 させている

<https://www.globalresearch.ca/us-offDaicials-say-us-intelligence-helping-ukraine-kill-russian-generals/5779495#>

Dave Decamp

Antiwar.com May 4, 2022

ニューヨーク・タイムズが、匿名の長老のアメリカ高官（複数）を引用して、報告する所によると、ロシア軍部隊についてアメリカの諜報を受けたウクライナが、ロシアの将軍たちを標的にして殺していることがわかった。<https://archive.ph/SQsQk>

ウクライナは 12 人のロシアの将軍を殺したと主張している。しかし、その数は確認されておらず、キエフは戦場の成果を誇示したがつていることから、高官たちは、アメリカの援助によって何人のロシア将校が死んだかは特定しなかった。しかし、いずれにせよ、**アメリカ高官による、アメリカがロシア将官を殺している**という主張は、モスクワに対する大きな挑発である。

他のアメリカのウクライナに対する援助と同じく、この主張は、**どの時点で、アメリカとロシアは、共同で戦争をしているのだろうという疑問を起こさせる**。高官たちは、ロシアの将軍を狙うことは、バイデン政権が、リアル・タイムでウクライナと諜報活動を行っている、協同作戦の一部だと言った。

高官たちは、アメリカは、ロシアの移動軍隊本部の、場所をシェアすることに全力を払っていると言った。彼らによると、ウクライナ自身の諜報とつながったアメリカの援助によって、ウクライナ軍は、ロシアの将校を殺している。

アメリカは、ロシアの侵攻以来、ウクライナとの情報の共有を拡大してきた。しかしそれにも限界はある。高官たちは、アメリカでは、年長のロシアのリーダーの情報をシェアすることは、禁じられていると言った。

ロシアの最高位の軍服を着たヴァレリー・ゲラシモフ元帥は、今週、ロシアのウクライナ戦争を訪問したと言われる。高官たちは、アメリカは、ウクライナと情報を共有して、ゲラシモフが訪問したと言われる東部ウクライナ地域を、攻撃することはなかったと言った。

先月、ウォールストリート・ジャーナルが、アメリカは依然として、ウクライナがロシア領内へ攻撃をすることを、禁じていると報じた——西側の高官が公然と、そのような攻撃をするように、キエフに奨励しているにもかかわらず。イギリスの武装軍相は、ウクライナがロシア領を攻撃することは「完全に合法的だ」と言い、もしこの攻撃が、ロンドンがキエフに供給した兵器を使ったものなら、「必ずしも問題はない」とつけ加えた。

### 【訳者 Greatchain 注】

この情報から、ペンタゴン国防総省は一枚岩でなく、バイデン政権が独自にウクライナを相手に諜報活動を行っていて、これを、ペンタゴンの高官が暴いていることがわかる。これは、バイデン政権の命令が、必ずしも米軍全体に有効ではないということであろう。バイデンはしきりに「プーチンは戦争犯罪人だ、許すな」と言っているが、これは完全に信用を失った彼の政権から目をそらすための、いわば景気浮揚策であろう。バイデン政権が不正選挙によって成立したことは誰でも知っており、バイデンでなくトランプ政権だったら、ウクライナ戦争は起こらなかつただろうと言っている。

不思議なのは、わが国政府が腐ったメディアと完全に一体となって、バイデンと同じ主張をしていることである。闇の勢力と言われ、明かに人民の犠牲の上に、権力（その幻影）を築こうとしているサタンの「グローバリット」が、何の疑問もなく、健全で永遠のもののように考えられているらしい。それはそうではない。彼ら自身がそうは考えていない。メディアも自分が腐っていることを知っていて、おそらく手を引くための間合を測っている。

ところで、これを訳したのは、アメリカのサイコパス的な戦争屋たちが狙うのは、ロシアの将軍だけでない。ロシアの外交官も同じ目に遭っているというためである。彼らを石ころのように次々に暗殺するのは、今始まったことではない。これは恥ずべき禁じ手だが、アメリカでは恥ではない。<https://www.dcsociety.org/2012/info2012/170225.pdf>

このような者たちが、ウクライナの、自国民を殺す恐ろしいナチスどもと、密かに情報交換をしていると考えてよいだろう。フリー・ジャーナリストたちによる、このウクライナの実態の暴露が、今ますます盛んになっている。メディアが隠すのはそれだけではない。ウクライナに隠されていた生物兵器についても同じである。

日本政府に聞いてみたいことがある。3年前？の秋の叙勲で、ビル・ゲイツを功労者として表彰したのは、間違いではなかったのか、間違いだったのか？ また、コロナ・ワ

クチンについては、本当に日本人の健康のために考えて、政策を立てているのか？ また最近、インターネット上に**異常**にしつこく宣伝されている、医者への転職の勧誘は何なのか？ これは医者という職業の Great Reset（大初期化）、医療倫理の大転換を狙ったものではないのか？ これはロシアにも、腐ったウクライナにもつながり、もっと根本的には、先日の「16 項目」で述べられた「ヴァチカンのイエズス会 vs. ロシア正教会」ともつながっている。